資料２

総合科学技術会議（第 107 回）議事次第

平成２５年３月１日（金）
１０時４５分～１１時２５分
総理官邸４階大会議室

議事　（１）　総合科学技術会議の今後の進め方
　　（２）　成長戦略に資する事例紹介（ロボットスーツ（HAL））

資料

資料１－１　総合科学技術会議議員名簿
資料１－２　総合科学技術会議運営規則
資料２　科学技術イノベーション政策の現状と課題について（山本大臣提出資料）
資料３　総合科学技術会議の今後の検討課題について（有識者議員提出資料）
資料４　世界初医療ロボットによる未来開拓（山海教授プレゼン資料）

参考資料１　平成 25 年度科学技術関係予算（案）の概要について
参考資料２　平成 25 年度科学技術関係予算（案）におけるアクションプラン・ 重点施策パッケージについて
参考資料３　科学技術イノベーション政策の現状と課題について（参考資料）（山本大臣提出資料）
参考資料４　「科学技術イノベーション促進のための仕組みの改革について－イノベーション創出環境の革新－」（科学技術イノベーション政策推進専門調査会　平成 24 年 12 月）
参考資料５　第 105 回総合科学技術会議議事録（案）

首相官邸ＨＰ　総理の一日より

平成 25 年 3 月 1 日

総合科学技術会議新議員への辞令交付及び総合科学技術会議

平成２５年３月１日、安倍総理は総理大臣官邸で、総合科学技術会議新議員への辞令交付を行った後、平成２５年第１回となる総合科学技術会議を開催しました。

本日の会議では、総合科学技術会議の今後の進め方について話し合われ、成長戦略に資する事例紹介（ロボットスーツ（HAL））が行われました。

安倍総理は、本日の議論を踏まえ、あいさつの中で次のように述べました。

「昨日、施政方針演説を行いまして、その施政方針演説で、私たちは再び世界一を目指します、と申し上げました。世界一を目指すためには、なんと言ってもイノベーションであります。安倍政権として、新しい方針として、イノベーションを重視していく。そのことをはっきりと示していきたいと思います。

その意味においては、総合科学技術会議を極めて重視をしておりますし、本来、総合科学技術会議は経済財政諮問会議と同じように、最も重要な二つの会議の一つであります。

ご承知のように第一次安倍政権におきましても、イノベーションを重視して、そしてオープンな姿勢によって、日本経済を力強く成長させて行く方針を打ち出し、そしてこの会議において、「イノベーション２５」を策定をしていただきました。残念ながら、その後、民主党政権下においては、この会議が活発に開催されることはなかったわけです。やはり、イノベーションを推進していくためにも、科学技術においても、このイノベーションにあたっている人達に勇気を与えていくためにも、政治の上においても、これは極めて重要なんだというメッセージを出して行く必要があるんだろうと思います。

今後、なぜ日本のイノベーションは停滞してしまったのか、またあるいは「イノベーション２５」で何ができて、何が足りなかったのかを徹底し検証して、その上で、「世界で最もイノベーションに適した国」を創り上げて行きたいと考えています。その司令塔こそが総合科学技術会議であり、新たに生まれ変わった新生総合科学技術会議とすべく私も全力で頑張っていきたい。皆様とともに汗を流していきたい。

先ほどもお話をいただきましたが、イノベーションに対して、国家的な支援を投入していくことは、新たな富を生んでいくことにも繋がっていくわけでもありますし、そして、そうであるということを国民の皆様にも理解をしていただく、国民の皆さんとコミュニケーションをしていくということも、とても大切なのではないのか、と思います。

本会議では、有識者議員から御提案のあった次の３点を、本年半ばまでに集中的に審議し、結果をまとめていただきたいと思います。

(1)　科学技術イノベーション政策の全体像を示す長期ビジョンや短期の行動プログラムを含む「科学技術イノベーション総合戦略」を策定していただきたい。

(2)　日本経済再生本部と連携して、成長戦略に盛り込むべき政策を、科学技術イノベーションの観点から検討していただきたい。

(3)　総合科学技術会議の司令塔機能について、権限、予算両面でこれまでにない強力な推進力を発揮できるよう、抜本的な強化策を具体化すべく検討していただきたい。

さきほど、山海先生のロボットスーツ（ＨＡＬ）を間近で拝見させていただき、メイド・イン・ジャパンの力とイノベーションによって、富を生み出すだけではなく、まさに人間が健康を取り戻す、そして豊かな人生を取り戻すことにも繋がっていくんだ、と思った次第です。

その意味におきましても、これから第一回を契機として、これによって日本の科学技術政策が変わったと、日本のイノベーションは変わったと思われるような会議にしていただきたいと思います。」